

2016年度第1四半期
決算補足資料

2016年8月5日

DOWAホールディングス株式会社

損益の状況

単位：億円

	2015年度 実績		2016年度		比較増減			
	1Q	通期	1Q実績	通期見込	1Q		通期	
売上高	1,078	4,065	937	3,850	△ 140	△13%	△ 215	△5%
営業利益	115	350	76	290	△ 39	△34%	△ 60	△17%
経常利益	120	350	68	290	△ 51	△43%	△ 60	△17%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	62	218	49	200	△ 12	△20%	△ 18	△8%

※ 2016年度の通期見込は、本年5月10日の公表値から変更はありません。

為替、金属価格

	2015年度		2016年度		
	1Q平均	通期平均	1Q平均	2Q以降前提	通期平均
為替：(¥/\$)	121.4	120.1	108.1	105.0	105.8
銅：(\$/t)	6,054	5,215	4,730	4,800	4,783
亜鉛：(\$/t)	2,195	1,831	1,915	2,200	2,129
インジウム：(\$/kg)	445	302	237	250	247

事業環境（1Q）

➤ 廃棄物関連

国内：集荷は堅調、廃棄物の処理単価が一部で低下

東南アジア：石油・天然ガス開発に関連する廃棄物処理の受注減

➤ リサイクル関連

厳しい集荷環境の中、電子スクラップの集荷に努めた

➤ 自動車関連

国内・海外ともに比較的堅調に推移

➤ 電子部品・半導体関連

新エネルギー向け：旺盛な需要に向け拡販

スマートフォン向け：一部製品で低調な状況が継続

主要製品の動向

※2015年度1Qを100として指数化

		2015年度				2016年度
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
環境・リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	92	96	97	91
	リサイクル原料集荷量 (小坂)	100	94	101	96	101
	東南アジア廃棄物処理額	100	111	92	98	97
製錬	銅生産量 (小坂・小名浜)	100	95	84	104	86
	亜鉛生産量 (秋田)	100	74	104	102	102
電子材料	LED販売量	100	108	77	58	57
	銀粉販売量	100	102	114	97	127
金属加工	伸銅品販売量	100	98	103	99	101
熱処理	熱処理加工売上高	100	100	104	100	100
	工業炉売上高	100	81	80	82	65

セグメント別の状況

単位：億円

	2015年度 1Q実績			2016年度 1Q実績			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・リサイクル	254	18	18	218	10	8	△ 35	△ 8	△ 10
製錬	581	52	57	497	29	29	△ 84	△ 23	△ 28
電子材料	131	23	25	131	14	12	△ 0	△ 9	△ 12
金属加工	205	15	16	175	15	15	△ 30	△ 0	△ 0
熱処理	65	3	3	55	4	3	△ 9	0	△ 0
その他、 全社・消去	△ 160	1	△ 1	△ 140	2	△ 1	20	0	0
計	1,078	115	120	937	76	68	△ 140	△ 39	△ 51

経常利益の要因別分析

単位：億円

2016年度1Q – 2015年度1Q	環境・リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	△ 9	△ 11	△ 10	△ 0	1	0	△ 28
うち実収差量（数量差）	－	(△7)	－	－	－	－	(△7)
実収差量（単価差）	0	△ 14	0	0	0	0	△ 14
原料条件（為替差・ベース条件差）	0	△ 7	0	0	0	0	△ 7
払出時価簿価差・期末時価評価差	0	5	0	0	0	0	5
電力代ほか	0	4	0	0	0	0	4
減価償却費（製造原価）	1	△ 0	0	0	0	0	1
営業利益増減	△ 8	△ 23	△ 9	△ 0	0	0	△ 39
営業外収支の影響							
・持分法損益	0	△ 5	△ 0	△ 0	0	1	△ 3
・その他	△ 3	△ 0	△ 3	△ 0	△ 1	△ 1	△ 8
経常利益増減	△ 10	△ 28	△ 12	△ 0	△ 0	0	△ 51

2016年度 連結業績の見通し

単位：億円

	2015年度実績			2016年度見込			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・リサイクル	983	63	61	970	68	68	△ 13	4	6
製錬	2,149	133	139	1,930	72	76	△ 219	△ 61	△ 63
電子材料	483	80	82	440	58	59	△ 43	△ 22	△ 23
金属加工	774	49	50	730	61	62	△ 44	11	11
熱処理	241	13	11	275	24	23	33	10	11
その他、全社・消去	△ 565	11	4	△ 495	7	2	70	△ 4	△ 2
計	4,065	350	350	3,850	290	290	△ 215	△ 60	△ 60

※ 2016年度の通期見込は、本年5月10日の公表値から変更はありません。

2016年度 前提条件と感応度

為替、金属価格比較

	2016年度			(参考) 直近	
	1Q実績	2Q以降の前提条件		通期平均	7月平均
		変更前	変更後		
為替：(¥/\$)	108.1	115.0	<u>105.0</u>	105.8	104.0
銅：(\$/t)	4,730	4,800	4,800	4,783	4,856
亜鉛：(\$/t)	1,915	1,800	<u>2,200</u>	2,129	2,185
インジウム：(\$/kg)	237	250	250	247	221

※ 下線部が本年5月10日公表の前提条件から変更した箇所です。

感応度 (営業利益/年)

単位：百万円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	105.0 円/\$	±1 円/\$	380
銅	4,800 \$/t	±100 \$/t	50
亜鉛	2,200 \$/t	±100 \$/t	500
インジウム	250 \$/kg	±100 \$/kg	600

※ 為替感応度の内訳は、製錬300百万円、電子材料80百万円です。

※ 感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。